

--	--	--	--	--

「流域治水」関連法施行一

流域治水への転換—総合治水・水災害対策の計画と推進

～自治体推進体制とハザードマップ、浸水想定区域と土地利用・住まい方、流域治水プロジェクトへの取組み～

□ 気候変動時代の水害対策—ハザードマップの限界、社会全体での流域治水の進め方

■ 浸水想定区域の宅地開発の実態—土地利用・住まい方の再考、ハザードマップの課題

□ [宇都宮市] 総合治水・雨水対策推進計画策定—目標・方向と先行事業の実施・評価

■ [千葉県] 一宮川水系流域治水プロジェクト—地域合意形成プロセスと浸水対策・事業展開

2021年11月24日(水) 10:00～16:50 剛堂会館・会議室 (東京・千代田区)

【講師陣】 **池内 幸司 氏** / 東京大学大学院工学系研究科教授
東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 機構長

秦 康範 氏 / 山梨大学大学院総合研究部工学域・土木環境工学系准教授

菅原 秀雄 氏 / 宇都宮市建設部河川課長

中村 大介 氏 / 千葉県県土整備部河川整備課一宮川流域浸水対策班長

《新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催への対応について》

感染予防対策として会場の座席は間隔を十分にあげます。開始前に机・椅子を消毒する、換気する、アルコールで手指消毒をする等で安全・安心を徹底しますので、マスクの着用をお願いします。

■ 会場：剛堂会館・会議室

東京都千代田区紀尾井町3-27

(案内図は申込後送付)

■ 参加費 (1名分)

	当日参加	メディア参加
行政・議員	25,000円	20,000円
一般	35,000円	30,000円

①メディア参加申込みの方は、研修会終了後にCD(講演収録・音声のみ)及び資料と請求書をお送りいたします。なお、メディアCDには、池内幸司氏(東京大学大学院)、中村大介氏(千葉県)のご講演は収録されません。②参加費の払い戻しは致しませんので、申込みの方のご都合が悪い場合は代理の方のご出席またはメディア参加とさせていただきます。

■ 支払方法：請求後の振込・郵便振替・当日払い

みずほ銀行麹町支店 普通1159880

三井住友銀行麹町支店 普通7411658

三菱UFJ銀行神田支店 普通5829767

郵便振替:00110-8-81660 口座名: (株)地域科学研究会

■ 申込方法：下記の申込書に所要事項を記入の上送付下さい (FAX・メール等)

請求書等書類が不要の方は開催日までに上記口座へ振込をお願いします (受講証/会場地図はメール送信)。書類が必要な方には受講証と共に郵送しますので到着後にお支払いをお願いします。領収書が必要な方には当日受付でお渡し致します(日付、但書等の留意点があれば明記下さい)。

お申し込み・お問い合わせ

あすの街と村を考える

地域科学研究会

東京都千代田区平河町2-3-10ライオンズマンション平河町101

TEL03(3234)1231 FAX03(3234)4993 〒102-0082

http://chiikikagaku-k.co.jp/

【申込書】 FAX：03-3234-4993 Email：machi@chiikikagaku-k.co.jp

2021年 月 日

■ 研修会 『流域治水への転換—総合治水・水災害対策の計画と推進』 □ 当日参加 □ メディア参加

勤務先

連絡担当者

所在地

TEL

参加者氏名

所属部課役職名

FAX

Email

〈通信欄〉○を付けて下さい

支払方法(請求後の振込・郵便振替・当日払い)

必要書類(納品書・請求書・見積書・領収書)

請求書等宛先名:

※ご記入いただいた個人情報は、当会の活動(セミナー・出版等の申込受付、連絡、請求、案内等)のみに使用させていただきます。

時	講義内容
10:00 ～ 11:30	<p>1. 近年の豪雨災害の教訓と今後の水害対策のあり方 ～流域治水を社会全体でどのように進めていくのか～</p> <p style="text-align: right;">東京大学大学院工学系研究科教授 東京大学地球観測データ統融合連携研究機構 機構長 池内 幸司 氏</p> <p>1. 近年の豪雨災害の特徴と教訓 (1)近年の豪雨災害における犠牲者の発生状況とその要因 (2)病院・社会福祉施設・企業・市役所等の被災と深刻な波及被害の発生、対策事例 (3)ハザードマップの有効性と限界、大雨特別警報の誤解</p> <p>2. 気候変動により激甚化する水害にどのように備えるのか (1)気候変動の状況と今後の洪水発生頻度の変化 (2)気候変動を踏まえた水災害対策のあり方 (3)「流域治水」を社会全体でどのように進めていくのか</p> <p style="text-align: right;">《質疑応答》</p> <hr/> <p>【池内 幸司氏プロフィール】1982年東京大学大学院修士課程修了後、旧建設省入省。2006年内閣府（防災担当）参事官、2009年国土交通省河川局河川計画課長、2013年近畿地方整備局長、2014年水管理・国土保全局長、2015年技監。2016年より東京大学教授。横浜国立大学客員教授、京都大学客員教授、神戸大学客員教授などを歴任。専門は河川工学・水災害リスクマネジメント。博士(工学)(東京大学)、技術士(総合技術監理部門、建設部門)</p>
11:40 ～ 13:00	<p>2. 全国の浸水想定区域の宅地開発の実態と土地利用・住まい方のあり方</p> <p style="text-align: right;">山梨大学大学院総合研究部 工学域・土木環境工学系准教授 秦 康範 氏</p> <p>1. 国土の特徴と水害リスクの増大 2. 近年におけるわが国の水害被害 3. 浸水想定区域と宅地開発の実態 4. 求められる土地利用・住まい方のあり方 5. 洪水ハザードマップの課題</p> <p style="text-align: right;">《質疑応答》</p> <hr/> <p>【秦 康範氏プロフィール】東京大学大学院工学系研究科社会基盤工学専攻博士課程修了、博士(工学)。人と防災未来センター、防災科学技術研究所などを経て現職。一般社団法人フェーズフリー協会理事。地域安全学会理事。日本災害情報学会企画副委員長。専門は地域防災、災害情報。主な受賞に、2020年地域安全学会技術賞、2018年内閣府防災功労者防災担当大臣表彰、2018年日本災害情報学会廣井賞（学術的功績分野）。</p>
14:00 ～ 15:20	<p>3. 〔栃木県〕 宇都宮市における総合治水・雨水対策の取組み</p> <p style="text-align: right;">宇都宮市建設部河川課長 菅原 秀雄 氏</p> <p>1. 宇都宮市の概要及び過去の被害状況 (1)宇都宮市の概要 (2)宇都宮市を流れる河川の流域概要 (3)いままでの浸水被害状況</p> <p>2. 宇都宮市総合治水・雨水対策推進計画の目指すべき姿 (1)策定の趣旨、位置づけ (2)「流す」「貯める」「備える」の3つの柱</p> <p>3. 先行事業の実施及び評価 (1)先行事業の概要 (2)先行事業の評価</p> <p>4. 推進計画の基本的方向 (1)推進計画の中期、長期の目標 (3)目標の実現に向けた取組の考え方 (2)推進計画の取組方針 (4)具体的な対策</p> <p>5. 目標の実現に向けて</p> <p style="text-align: right;">《質疑応答》</p>
15:30 ～ 16:50	<p>4. 〔千葉県〕 一宮川水系流域治水プロジェクトの取組み ～大規模水害を契機とした中小河川の流域治水～</p> <p style="text-align: right;">千葉県県土整備部河川整備課 一宮川流域浸水対策班長 中村 大介 氏</p> <p>1. 一宮川流域の特徴及び課題 (1)流域特性 (2)これまでの浸水被害 (3)浸水対策にあたっての課題</p> <p>2. 一宮川流域における流域治水の検討過程 (1)複数の分野、自治体にまたがる浸水対策を検討し、とりまとめるための体制 (2)リスクコミュニケーションを通じた地域合意形成</p> <p>3. 一宮川上流域・支川における浸水対策案 (1)浸水対策案の構成 (3)河川整備案 (2)浸水対策ビジョン (4)流域対策の概要及び具体化に向けた体制</p> <p>4. 今後の事業展開 5. 到達点と他の流域への適用性</p> <p style="text-align: right;">《質疑応答》</p>